

1. 第1回 町民ワーキングの概要

(1) 第1回町民ワーキングの実施

- 第二次宝達志水町総合計画の基本計画の策定に向け、町民の皆さまのアイデアが反映できるよう、令和元年6月1日（土）に第1回町民ワーキングを開催しました。
- 第1回町民ワーキングは、3セッションに分けて実施し、計70人が計11班に分かれてワークショップ形式で議論し、意見を共有しました。
- セッションは、まちづくりのテーマ「育てよ！町の宝」を支える3サブテーマ「町の宝を育てる」「町の良さを伸ばす」「町の礎を次代につなげる」より3つに分けています。また、各セッションの議題については、施策の大綱の分類に従っており、現状や課題に対して『どうすれば施策が実現できるのか!』という視点で議論していただきました。



セッション1：町の宝を育てる

時間帯：10：00～12：00

参加者：23人

テーマ：①誇り高き若者を育てる

(教育、子育て支援)

②未来のために学び、楽しむ

(生涯学習、文化の継承・創造)

③全員参加のまちづくり

(住民参画、男女共同参画、国際交流)



セッション2：町の良さを伸ばす

時間帯：13：00～15：00

参加者：26人

テーマ：④住み続けられるまちづくり

(定住促進、都市基盤整備)

⑤誰一人取り残さない社会福祉

(健康・福祉・介護)



セッション3：町の礎を次代につなげる

時間帯：15：00～17：00

参加者：21人

テーマ：⑥産業の可能性を芽吹かせ育てる

(産業振興、観光促進)

⑦命を守りやすらぎあるまちづくり

(防災、防犯)

⑧持続可能な行政経営の実現

(行財政改革)

(2) 各セッションでの議論の方向性

- 各班で挙げられた意見の方向性を整理しました。(ワークショップの模造紙に記入された意見の大項目について、文章を補足し整理しています)

【セッション1：町の宝を育てる】

A班	B班	C班
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土教育の必要性 ・地域資源の活用 ・発信力の強化 ・自分事に捉える ・親世代が子世代の地域との繋がりを育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・宝達志水町らしい遊びの拠点を つくる ・お祭り等の地域活動を継続 ・楽しい行事をつくり、地域や世 代間交流を促進 ・誰もが立寄り交流できる場が必 要 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の充実 ・町の資源を活用した教育 ・公民館などを活用した交流 ・既存施設跡地の活用 ・排他的な雰囲気減らし、町民 の多様性を寛容する ・まちの魅力の発信が必要 ・小さな働く場づくりの促進

【セッション2：町の良さを伸ばす】

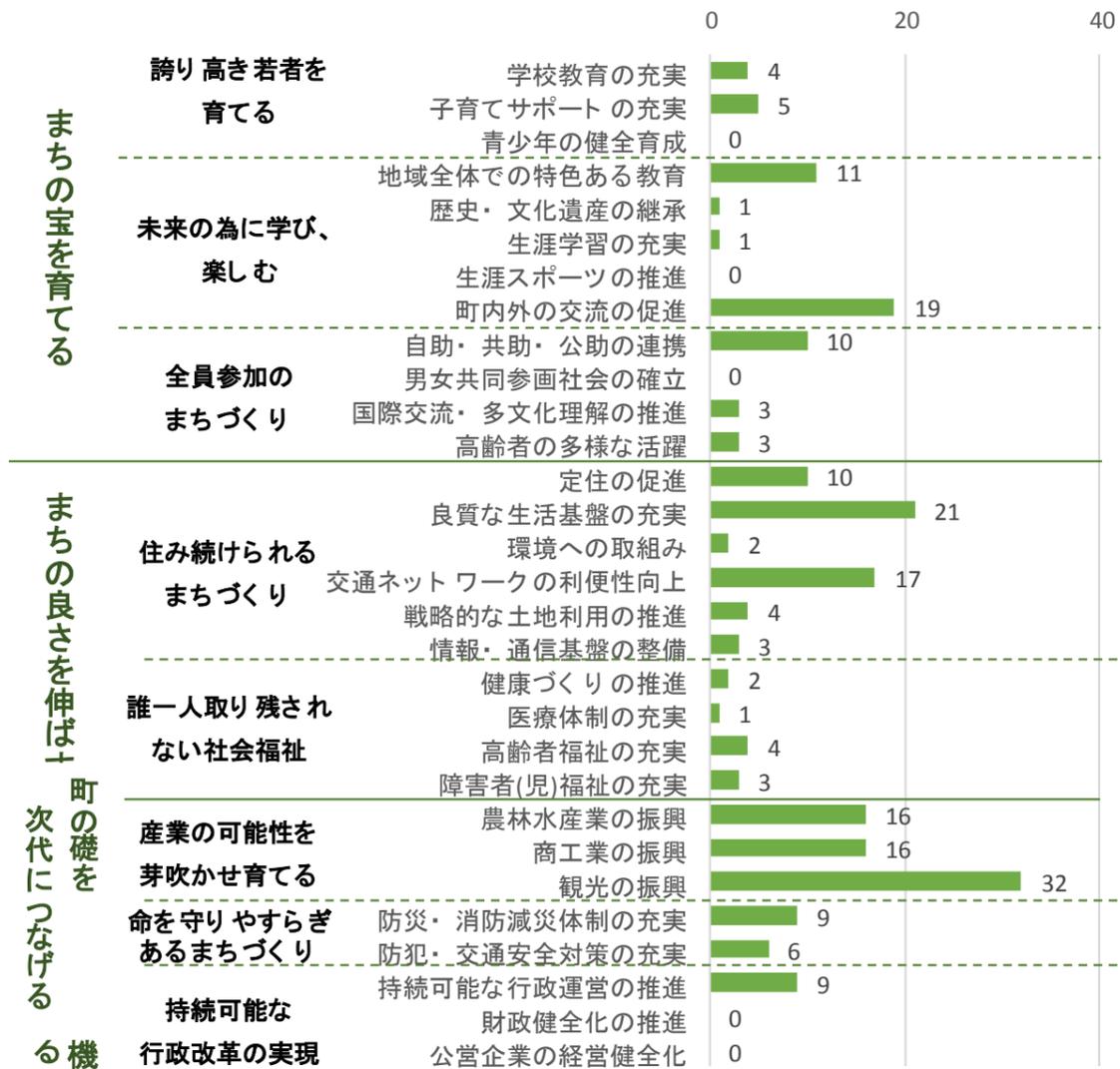
A班	B班	C班	D班
<ul style="list-style-type: none"> ・人づくりが大切 ・情報発信力を高める ・農業の魅力を高める ・デマンドタクシーや買 物配送の充実 ・企業誘致の促進と雇用 確保のための連携 ・福祉サービスのPRや 担い手づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まち」や「田舎」の 様々の暮らし方がで きる住環境の確保 ・テレワークで仕事がで きる環境づくり ・町民目線のバス路線の 見直し ・ネット活用による情報 発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・買物などの移動支援の 充実と内容の周知 ・空き家を交流の場や移 住者用の住居として 活用 ・町内にない医療や福祉 サービスについて、近 隣市町との連携が大 切 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある空き家を活用 した住宅供給 ・高齢者が活躍できる働 く場の確保

【セッション3：町の礎を次代につなげる】

A班	B班	C班	D班
<ul style="list-style-type: none"> ・農業、定住、観光の活 性化にはPRが重要 ・農業に触れる機会をつ くる ・自然や空き家などを活 かした住環境づくり ・地域資源を活かした観 光施策の検討 ・分かりやすい防災情報 の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けるためには、 各地区が楽しいと感 じられるようにする 必要がある ・学生と町の営みをつな げる ・立ち寄り型観光へのき っかけづくり ・地域活動の円滑化 ・行政内の連携と透明化 	<ul style="list-style-type: none"> ・人づくりが大切 ・住民参画などで観光の 宝をつくる ・通過型の立地を生かす 観光や飲食業の開発 ・町でできるスポーツ資 源を活かす ・住環境整備が必要 ・情報発信・連携強化 ・健康増進 	<ul style="list-style-type: none"> ・山林や農地での維持管 理に問題が多い ・エコツーリズムの実施 ・優秀な役場職員の確保

(3) 全意見の整理

- 話し合いで出た個々の意見数は約 200 件となり、それらを施策の大綱に従って分類しました。
- それぞれに意見について、町の施策や事業のヒントとするため、現在、庁内各課で確認し、対応策を検討しています。なお、既に実施しているものや現段階で実施可能と判断したものについて、注釈(→)を記載しております。
- 今後、本審議会や第2回町民ワーキングの意見を踏まえ、また、時代の潮流を踏まえた考え方を追加しつつ（特に意見が少なかった項目に対して追加）、基本計画を作成します。



図：全意見の分類

【町の宝を育てる】

1. 誇り高き若者を育てる	
① 学校教育の充実	<p>【教育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の多様性を尊重できる新しい学校教育を進めて欲しい ○他都市のモデルとなるような英語教育の充実 ○不登校児童の対策（保健室登校の児童も） →（上記3つについて）内容を精査して第2次総計の内容を検討します <p>【教育施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育施設が分散し、効率が悪い。一ヶ所にまとめて建てるべき →小学校を統合予定です
② 子育てサポート	<p>【医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小児科専門医がいない。町内に専門医を配置してほしい →小児科設置は難しい状況であることから、病院連携の中で小児医療をカバーしていきたい <p>【施設や制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供を育てる環境にない（税金の優遇や最寄りの公共施設が少ない）ので改善して欲しい →担当課としては児童館や広場を整備したく、検討しています ○小さな子供達が遊べる環境づくり →旧志雄中学校跡地、アステラスなどに設置を検討しています <p>【児童の移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供たちが生涯学習センター（さくらドーム21）に行きにくい（押水地区）。スムーズに行けるバスルートを検討して欲しい【再掲あり】 ○夏休み用のダイヤを作るなど、子供も使いやすいコミュニティバス運行【再掲あり】
③ 青少年の健全育成	<p>※第1回町民ワーキングで特に意見が出なかった項目については、町の現状や時代の潮流を踏まえつつ、内容を検討いたします。</p>

※「→」は各課の現時点での確認内容となります。他意見については、引き続き、検討しています。

※総合計画を「総計」と省略させていただきます。

2. 未来の為に学び、楽しむ (1/2)

<p>①地域全体での特色ある教育</p>	<p>【ふるさとを知る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民が町の良さを知るきっかけづくり ○町民にまちの良さを知ってもらう取り組みをする ○親世代にふるさとの良さを再確認する場を設ける →(上記3つについて)公民館講座、出前講座、ふるさと学習の講師派遣を継続します ○中学・高校でふるさとの問題をもっと考えてもらう →生涯学習事業の中で中学、高校生に参加してもらえるような企画ができないか検討したい ○なるべく多くの地域の文化に触れる機会があったらよい →内容を精査して第2次総計の内容を検討します ○やわらぎの郷やふるさとを愛した人をもっと紹介する →やわらぎの郷を含め、地域のスポットは町の観光サイトや、企画振興課作成の「ふるさとガイド」で紹介されています。宝達志水町にゆかりのある人物の紹介は、関係課と連携し今後検討していきます <p>【町を考える人づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各分野でのリーダーづくり ○中学生に様々な地域体験をさせ、Uターン希望を増やす →(上記2つについて)わくワーク体験で実施中ですが、内容を精査して第2次総計の内容を検討します ○町の職場に学生アルバイト・インターンシップを受け入れ、町の仕事に関心を持ってもらう ○地域課題研究のカリキュラム化 ○町に金が落ちるしくみを町民で考えるカリキュラムを作る
<p>②歴史・文化遺産の継承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○羽咋郡史簡易版の作成(追記) →羽咋郡史は町単独ではなく広域圏で取りまとめて実施する必要がある。合併して10年以上が経過しており、宝達志水町の歴史をまとめた冊子の作成は今後実施していきます
<p>③生涯学習の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者向けインターネット・パソコン・スマホ講座を開催 →実施中ですが、内容を精査して第2次総計の内容を検討します
<p>④生涯スポーツの推進</p>	<p>※町の現状や時代の潮流を踏まえつつ、内容を検討いたします</p>

2. 未来の為に学び、楽しむ (2/2)

<p>⑤町内外の交流の促進</p>	<p>【地区や町のイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地区単位のイベントへの助成などの支援 →一部実施中ですが、イベントの内容によって関係課と協議をし、実施できるのか検討していきます ○お祭りを集落間でローテーションをして行うなどの工夫が必要 ○地区のお祭りが若者間や多世代の交流の場のため、持続的な運営が必要 →祭礼については、集落が主体で実施しており集落内で協議をお願いしたい。宗教分離原則の観点から、行政の直接的な関与は難しい ○廃止された地区行事の再建できるような支援 →集落内で再建してほしい行事を要望していただき、行政のサポートができる内容であれば、どのような方法で支援できるか検討したい ○若者が地域行事に参加しやすくなる工夫が必要 →若者が集えるような生涯学習事業を検討し、その中で地区行事がどのようなものがあるのか一緒に考えていきたい ○桜祭にボランティアとして大学生が準備運営に参加してもらう ○新しいイベント(運動会、仮装など)を開催したい <p>【交流の場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会館(集会所)を子供や高齢者がつどえる場にする ○地域の核(公民館)がない。地域の核づくり ○町民が集まる場(飲食店)がない。集まれる場を作って欲しい ○町民住宅・小学校跡地を活用して町民が集える場づくり【再掲あり】 ○まちなかに人が集まれる拠点を作りたい ○いつも話せる人がいる交流の場の創出 ○親父会(食事・酒などで交流)を開き交流を深める <p>【町内外への情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若人にPRする方法としてFacebookを活用してはどうか →既存の町Facebookなどを活用した情報発信に努めていきます ○ホームページだけでなく若者向けに伝わるようPRの工夫をする ○ホームページ以外の情報発信を検討する →(上記2つについて)内容を精査して第2次総計の内容を検討します ○協力隊のホームページを活用して情報発信する ○「ジモグラファー」(地元+フォトグラファー)をつくる
-------------------	--

【町の良さを伸ばす】

3. 全員参加のまちづくり

① 自助・共助・公助の連携	<p>【ボランティア活動の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域活動やボランティア活動をやりたい人を支援する仕組み →<u>社会福祉協議会でボランティアセンター設置しています</u> →<u>地域行事サポート事業の実施を検討します</u> ○ボランティア活動の実施手続きの円滑化、活動権限の拡大 <p>【人づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青年団活動への支援 →<u>当町子浦区の青年団の荒屋新川若連中が、第66回全国青年大会郷土芸能で獅子舞を発表し最優秀賞を受賞している。町青年団協議会が活動休止状態であるため、このような発表の場があることを積極的に広報するとともに、地区青年団の機運を盛り上げるための応援をしていきたい</u> ○地域にいるまちづくりの中核となるリーダーを発見する →<u>地域行事サポート事業を実施するなど、支援します</u> ○町の匠（リーダー）をつくる、能力を活かす ○親世代の交流を深めるカリキュラムをつくる →<u>公民館講座の中で、世代が交流できるような講座内容を検討します</u> ○あいさつ運動などの継続、強化 →<u>実施中ですが、内容を精査して第2次総計の内容を検討します</u> <p>【支援の仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども食堂などづくり、老人に店番をしてもらう【再掲あり】 →<u>NPO等との協働で行いたい</u>
② 男女共同参画社会の確立	※町の現状や時代の潮流を踏まえつつ、内容を検討いたします
③ 国際交流・多文化理解の推進	<p>【外国人居住者との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人定住者との交流の場をつくる ○外国人がベトナム人増加。交流の場を作ってはどうか ○他を受け入れにくい地域性がある（外国人他区の人）。受け入れやすい環境を作っていきたい →（上記3つについて）<u>実施中の事業を充実させるなど、内容を精査して第2次総計の内容を検討します</u>
④ 高齢者の多様な活躍	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の就労支援を行う <p>【子育ての場での高齢者の活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども食堂などづくり、老人に店番をしてもらう【再掲あり】 ○自然公園を整備し、遊び方を指導するお年寄りスタッフを配置する【再掲あり】

4. 住み続けられるまちづくり（1/3）

① 定住の促進	<p>【全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他所から来た人が入りやすい環境づくり ○限界集落に若い人が流入する仕組みをつくり ○定住促進策などについて、国や県の支援を活用する ○地震などの災害の少なさをアピールしては →<u>地震発生確率の高い邑知潟断層帯があるため、アピールは難しい</u> <p>【きっかけづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おためし移住の推進 →<u>本年度から一部取り組みを開始しています</u> <p>【住環境の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テラス・農園付きの田舎暮らしが楽しめる住宅を無償で提供する <p>【不動産情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちの不動産情報を分かりやすく提供する ○宝達オモシロ不動産サイトをつくる ○建物と土地所有者が違うため活用しにくいので、仕組みづくりが必要 <p>【出会い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出会える機会をつくり、町内の相手と結婚に結び付ける →<u>婚活事業の内容を精査して第2次総計の内容を検討します</u>
---------	--

4. 住み続けられるまちづくり (2/3)

②良質な生活基盤の
充実

【空き家の活用】

- 空き家を遊び場として活用する
- 空き家を活用した町民の居場所作り。学生やデザインの力で魅力ある施設に
- 空き家を利用して野菜市場を開く
- 空き家を社宅として活用
- 空き家をセカンドハウス化として利用してもらう
- 就農者をターゲットにして空き家を利用してもらう
→(上記6つについて) 空き家を解放できるのか、危険性はないのか、所有者との問題など、課題が多く難しいと考えています

【空き家の管理】

- 空き家を管理する組織とその活用が必要
→空き家の管理は所有者であるため、危険空き家に対する助言、指導は町(地域整備課所管)がしているが、地域との連携も必要です
- 空き家の防犯対策の実施

【住宅供給】

- IC 周辺での住宅地整備
- まちなかでの住宅供給
- 小学校区ごとの宅地造成(計画的に)
→(上記3つについて) 民間活力を導入した宅地造成などを検討します
- 民間賃貸住宅アパートを増加させる
→総合戦略において目標達成(5件/5件)予定。引き続き民間賃貸住宅建設補助の実施を検討したい。
- 年代やニーズにあわせた住宅ローテーションができる仕組みづくり

【公園・緑地・広場など】

- あそぶところの拠点をつくる(使いやすい公園や緑地の配置)
- 研修農場跡地などで、大自然が楽しめる豊かな遊び場をつくる
- 山の地形を生かした公園づくり
- 都市型でない、大きな遊び場づくり
- 自然公園を整備し、遊び方を指導するお年寄りスタッフを配置【再掲あり】
→(上記5つについて) 町内に公園が点在しており、拠点化(集約化)は大変難しいと考えています
- 広場やあそび場を作って欲しい
- 子供が外に出て遊べる、集える環境づくり
→(上記2つについて) 旧志雄中学校跡地、アステラスなどに設置を検討しています

【上下水道】

- 下水道料金見直しの影響などを分かりやすく町民に伝える【再掲あり】

4. 住み続けられるまちづくり (3/3)

③環境への取組み

【環境保全】

- 宝達山の環境維持

【獣害対策】

- クマガでる。出たときの対策を検討して欲しい
→速やかな情報伝達と、警察、猟友会、中能登農林総合事務所など関係機関と連携した取り組みを強化しています

④交通ネットワークの
利便性向上

【全般】

- 交通機関が少ない。増やす事はできないか
- 移動支援を知らない人が多いので情報発信する
- 観光客の移手段を確保しては
- 高齢者車の事故を減らす為、免許返納の特典の充実
- JR・国道沿いと山間部との格差が激しい。山間部の交通機関も充実するべき
- 自動運転モデル都市を目指す

【コミュニティバス・デマンドタクシーの利便性向上】

- バスターミナルで買い物出来るようにしてはどうか
- 利便性のよいバスターミナルの設置し、町のコアとする
- コミュニティバスの利便性が悪い。本数や乗車時間を見直しが必要
- コミュバスの充実のため、スクールバスの空き時間を活用する
- 子供たちが生涯学習センター(さくらドーム21)に行きにくい(押水地区)。スムーズに行けるバスルートを検討して欲しい【再掲あり】
- 夏休み用のダイヤ作成等、子供も使いやすいコミュニティバス【再掲あり】
- 施設のバスの空き時間を活用し高齢者の買い物バスとして利用する
- 目的別(買い物に便利な路線、公共施設が便利な路線等)のバス路線づくり
- デマンドタクシーのエリア・時間が決まっている。自由化しないか。または、エリア拡大。時間帯を増やす
- デマンドタクシーのチケット配布。利用してもらってリピーターをつくる
→(全般にわたって) 内容を精査して第2次総計での取り組みを検討します

⑤戦略的な土地利用の
推進

【企業誘致】

- 大企業が活用しやすい土地の整備

【遊休地・施設の活用】

- 遊休施設を住宅として活用する
- 町民住宅・小学校跡地を活用して町民が集える場づくり【再掲あり】

⑥情報・通信基盤の整備

- ケーブルテレビが町の財政の負担にならないように運営する
- ケーブルテレビ有効活用し災害情報などを流す【再掲あり】
→(上記2つについて) 内容を精査して第2次総計の内容を検討します
- まち中でインターネットが使えることをアピールする

5. 誰一人取り残されない社会福祉	
①健康づくりの推進	<p>【きっかけや場づくり】</p> <p>○健康を維持のため30～50代の健康づくりの場をつくる →宝スポが実施している健康教室の場以外の場、健康状態やニーズに合った場を作り、普及に努めます</p> <p>【健康づくりがしやすい環境】</p> <p>○歩ける空間を整備し、ウォーキング人口を増やす →既存の「健康の道」の点検、必要箇所の整備、活用の推進、体調にあった正しいウォーキングの普及に努めます</p>
②医療体制の充実	<p>○専門医がない為、車で町外に行く。町内で済むよう医療環境を整えて欲しい</p>
③高齢者福祉の充実	<p>【情報発信】</p> <p>○お年寄りが安心して住み続けられるよう最新情報の発信をする →広報やHP等で情報発信、わかりやすいパンフレットの作成・配布します</p> <p>【見守り体制と担い手】</p> <p>○独居老人が多い。その人達への支援を充実して欲しい →地域資源を活用し見守り体制を構築します</p> <p>○介護福祉の担い手の掘りおこし（主婦など） →生活支援コーディネーター支援事業で実施します</p> <p>【高齢者の買い物】</p> <p>○高齢者の買い物環境の充実【再掲あり】 →移動販売出来る業者の発掘・支援、有償ボランティアを検討します</p> <p>【災害時の対応】</p> <p>○ハザードマップに一人住まいの所をチェックし、いつでもかけつけられるようにする【再掲あり】 →住宅地図への表示等が必要となるため、現状の広域的なハザードマップへの表示（掲載）は困難です。地域での防災マップ作成などを検討していただきたい。地区の民生委員は避難補助を必要とする方は把握しています。</p>
④障害者(児)福祉の充実	<p>【受入れ施設の充実】</p> <p>○町内に障害児があずけられる学童保育を作って欲しい →保育所の指定管理先及び児童クラブの委託先に、配置職員に障害児に対するスキルを取得するように促します</p> <p>○福祉（障害）相談員が常時配置されていない（週2回）。常時配置されて欲しい →障害児に対するスキルがある職員を雇用を検討します</p> <p>○障害者の就労支援を行う</p>

【時代の変化や危機に対応する】

6. 産業の可能性を芽吹かせ育てる (1/3)	
①農林水産業の振興	<p>【きっかけづくり、支援】</p> <p>○他地域からの農業体験の受け入れ強化</p> <p>○農業ツアーを企画して、後継者づくりを目指してはどうか</p> <p>○農業の活性化のため、幅広い方に補助金制度なども前面にPRしていくべき →（上記2つについて）関係機関等と連携して検討したい</p> <p>○農家レストランを開業し、農業の関心を高める</p> <p>○農業成功例を若者にPRして後継者確保につなげる →（上記2つについて）関係機関等と連携して検討したい</p> <p>○各地域のとりくみは既に多くあるので、取りまとめ紹介する【再掲あり】</p> <p>【付加価値の高い農業】</p> <p>○花木の価値を理解し（すべてが高品）、例えば関西市場に展開できないか</p> <p>○自然栽培農業の魅力発信していく →JAはくいと連携して検討したい</p> <p>○未森山に薬草を活かした健康づくり</p> <p>【ブランド化、流通、販売】</p> <p>○宝達志水の名産が一目で分かるようなブランドロゴの作成</p> <p>○宝達志水の名産のアンテナショップをつくる</p> <p>○オムライス、ルビーロマン、イチジクの特産化を進める →JAはくい等と連携してさらに促進したい</p>

6. 産業の可能性を芽吹かせ育てる (2/3)

<p>②商工業の振興</p>	<p>【町民生活に合った買い物環境の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○移動手段を増やすか移動スーパーなどを充実して欲しい ○買い物宅配サービスの充実 ○高齢者の買い物環境の充実【再掲あり】 →<u>移動販売出来る業者の発掘・支援、有償ボランティアを検討します</u> ○A コープの宅配など民間のしくみを活用した生活支援 ○NPO による移動支援（買い物）の充実 <p>【働く場所の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致のための「誘致課」をつくる ○各地域のとりくみは既に多くあるので、取りまとめ紹介する【再掲あり】 ○成功例をシェアして、新たな産業を育む ○スモールビジネスを育てる ○テレワークの推進 ○空き家をオフィスなどとして活用する →<u>内容を精査して第2次総計での取り組みを検討します</u> ○就職セミナーが能登地方は参加者少ないので誘致する <p>【地域経済の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元の食品を提供する販売店や飲食店の充実 ○地域マネー（通貨）の流通 ○竹細工、竹すみを特産にしたい
<p>③観光の振興 (1/2)</p>	<p>【名所や新しい楽しみの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○印象に残る特産品や観光スポットの創出 ○通過型となってしまう対策として、住民参加型（花で町を彩る等）で特徴をつくれなにか ○花が多いので、花スポット巡りなどコースをつくってはどうか ○景観ビューポイントづくりをして観光客を増やす ○桜の花を活かしたまちづくり。例えば桜の下でオムライスが頂ける場所など、桜に触れられる場所の整備 ○宝達小学校を利活用して図書館分館やオムライスを食べた後にいちじくやルビーロマンがいただけるカフェをつくる ○通過地の立地を活かし昼食や休憩施設の強化 ○地産地消の素材でのオムライスづくり ○おみやげ店などでもオムライスなどの名産物を提供する

6. 産業の可能性を芽吹かせ育てる (3/3)

<p>③観光の振興 (2/2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○体験型で楽しめる施設の整備 ○山の素晴らしさを知ってもらいたい体験コースを作りたい ○道の駅のような直売所をつくって観光客に立ち寄ってもらおう <p>【移動や案内情報の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オムライスの店へのアクセス方法などを分かりやすく伝える ○観光、登山の際の案内看板を強化しては ○駅に観光案内所を設置する <p>【飲食や宿泊施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き家を民泊として活用する ○古民家カフェをつくり観光スポットの一つにする <p>【方向性やターゲットについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光宿泊客の確保 ○企業とのタイアップによる交流人口の増加 ○エコツーリズムをもっと展開してはどうか（千里浜、宝達山、マサギマダラ旅、モーゼの墓、イチジク） ○大学生の合宿を誘致する（安さなどの特権をつくる） ○レンタカー利用者を町へ誘導する ○農業短下跡地で有効活用二ホンジャンボリーなどを実施 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オムライスの魅力発信を持続的に行う ○千里浜が宝達志水町のものであることを PR ○「フレンドリーな住民」をアピールしたプロモーションをしては ○SNS（ネット）活用して魅力発信する ○トランヴェール（JR 東日本の車内誌）などへの末森城のアピール ○まちのPRなどのデザインを強化する ○マンガキャラを活用して認知度を高める ○外国人に民泊をしてもらい、多方面に魅力発信をしてもらう ○観光スポットの最近の取り組みを周知する →<u>（全般にわたって）観光DMOの設立と運営を進めていくなど、第2次総計での取り組みを検討します</u>
-------------------------	---

7. 命を守りやすらぎあるまちづくり

<p>①防災・消防減災体制の充実</p>	<p>【防災組織の見直し、維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢化する消防団の持続的な運営 ○形骸化した自治防災組織の見直し →(上記2つについて)内容を精査して第2次総計での取り組みを検討します <p>【防災意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害について考える場をつくる →県の出前講座を活用して、勉強会を開催します →自主防災組織と防災士の増員を図ります <p>【災害情報の提供体制の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災無線を聞き取りやすくする、若しくは見えるものにする ○ケーブルテレビ有効活用し災害情報などを流す【再掲あり】 ○防災マップを施設ごとに分かりやすく作成する(多言語含) ○ハザードマップに一人住まいの所をチェックし、いつでもかけつけられるようにする【再掲あり】 <p>【農林の管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山が荒れている。災害が起きないように管理を徹底する →関係機関や山主と連携して、森林環境税での取り組みなどを検討します ○農地の管理による災害の抑制 →関係機関と連携して実施します ○ため池の管理があいまいであり管理を徹底する →関係機関と連携して実施します
<p>②防犯・交通安全対策の充実</p>	<p>【見守り活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢化する児童の見守り活動の持続的な運営 ○地区の見回りなどを行うことで連携を深める →内容を精査して第2次総計での取り組みを検討します <p>【防犯意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域連携を強化し防犯対策にもつなげる(情報共有) ○家や車のカギをかけていない人もおり、防犯意識を高める環境づくり ○防犯カメラ・ドライブレコーダーの設置の強化 →(上記2つについて)内容を精査して第2次総計での取り組みを検討します

8. 持続可能な行政改革の実現

<p>①持続可能な行政運営の推進</p>	<p>【住民サービスの改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庁内の組織連携により、町民がサービスを受けやすくする →補助金制度などのワンストップ化の実施します <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政サービス充実しているが認知されていない ○行政情報を分かりやすく公開する →(上記2つについて)広報やホームページで情報発信に努めています ○下水道料金見直しの影響などを分かりやすく町民に伝える【再掲あり】 <p>【組織運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政改革のために職員一人一人から意見を集める →職員提案制度を実施しています ○合併以降、町職員が減少しており、人員が必要な業務に支障がある →適正化計画に基づき職員を配置します <p>【公共施設の使用料について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共施設の無料化(ただし、成果は発表してもらう) ○施設利用無料化をつくり、町の売りの一つにする(イベント開催などの利用) <p>【その他、支援など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族を養うだけの収入がない人の支援 →県と連携して生活困窮者への支援事業を実施しています
<p>②財政健全化の推進</p>	<p>※町の現状や時代の潮流を踏まえつつ、内容を検討いたします</p>
<p>③公営企業の経営健全化</p>	<p>※町の現状や時代の潮流を踏まえつつ、内容を検討いたします</p>